

先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）

中間評価結果

機関名	東京工業大学
事業概要	オープンファシリティセンター(OFc)を中心に、「設備共用の統合管理」及び「高度専門人財の認定と養成」の2次元強化を行い、イノベーション創出の新たな戦略モデルを目指すとともに、次世代の研究基盤戦略のための統合設備共用システム（以下「統合システム」）を構築し、システムを活用したエビデンスに基づく設備経営を実践する。
評定（総合評価）	コメント
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事をヘッドとした管理体制の組織化が進み、戦略的な設備の整備・運用、人材育成など、計画を大きく上回る成果を創出しており、今後も大きな発展が期待できる。</li> <li>・ 地方大学も含めた他大学との連携が進んでおり、組織を超えた技術職員の人材育成の取組が進んでいる。</li> <li>・ 「TC（テクニカルコンダクター）カレッジ」制度は非常に優れた取組で、一般化できれば人材の流動化や最適な配置につながるもので、更なる推進に期待する。</li> </ul>
評定（個別評価）	
① 進捗状況	コメント
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFcを早期に立ち上げ、事業進捗の適切な管理を行うことで、戦略に沿って計画を上回る進捗を達成している。</li> <li>・ OFcによるモニタリング及び各推進体の取組により、全学的な研究設備の戦略的な導入・更新を行う仕組みが構築され、機器の利用状況も含めて優れた進捗を示している。</li> </ul>
② 経営戦略	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内共用化のガイドラインを策定し、スペースチャージの控除制度なども有効に運用しつつ、全学的な共用化の取組を進めている。</li> <li>・ 設備共用を認定したグループに対して共用機器の登録を義務化し、学内外への共用の促進とともに、OFcとしての共用機器の一元管理や、それによる設備の戦略的な整備・運用につなげている。</li> </ul>
③ 実施体制・仕組み	コメント
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFcがリーダーシップを発揮する全学的な体制を構築し、基盤的設備の要求</li> </ul>

	<p>の調整を担うことで、戦略的な設備整備の提案につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備共用推進体の策定により、有機的な設備更新を行える体制を整えている。</li> <li>・ 業務フローの共通化・自動化を図りつつ、データ連携の簡素化や管理コスト低減につなげる統合システムの構築を進めている。</li> </ul>
④ 人材育成	コメント
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事部局とも連携し、技術職員の上位キャリアパスを整備するとともに、TCカレッジを設置し、技術職員のキャリア形成やスキルアップにつながる制度を構築している。</li> <li>・ TC制度を、産業界や他機関との連携も進め、全国規模でのプロフェッショナル人材の育成を推進する取組として発展させている。</li> </ul>
⑤ 資金計画	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務部との連携により、短期間で財務会計システムから予算詳細マスタデータとの連携を実現している。</li> <li>・ 利用料金の見直し、運営予算の配分方法の見直し、予算繰越の仕組みの策定などを進め、運営の安定化を進めている。利用料収入の活用も含めた事業終了後の資金計画の一層の具体化も期待したい。</li> </ul>
⑥ その他の政策との連携	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファシリテーステーションの構築により、分野融合、新領域開拓、産学官連携の強化、スタートアップ支援の推進を図っている。また、統合システムにおいて、研究基盤 IR として、分野融合や新領域拡大に関するモニタリングを可能とする機能の構築を進めている。</li> <li>・ 創発的研究支援事業採択者向けに利用料の優遇を行い、利用促進とともに研究活動の活性化を図っている。</li> </ul>
⑦ 外部連携、国際化	コメント
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他機関への展開も視野に、既存ソフトウェアとクラウド環境の活用により、安価で導入・運用できる統合システムを構築している。</li> <li>・ TCカレッジの門戸を他機関にも開くとともに、産業界との連携を進め、現場に近い研修環境を構築している。</li> </ul>
備考	なし